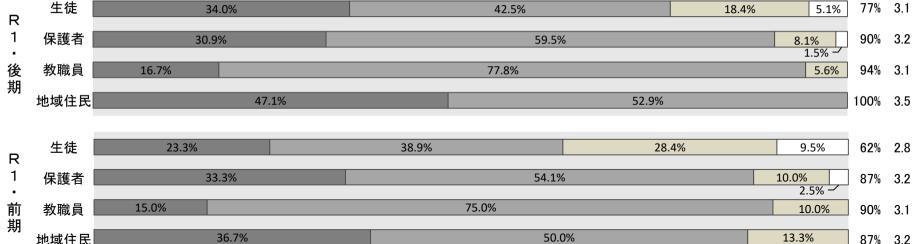
この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじ めや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

牛 徒)。この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。 (保護者)この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでいると思う。

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均 生徒 34.6% 41.9% 15.6% 8.0% 76% 3.0 R 2 保護者 28.7% 60.2% 10.3% 89% 3.2 0.8% -前 教職員 46.2% 46.2% 7.7% 92% 34 期 地域住民 46.2% 53.8% 100% 34 生徒 34.0% 5.1% 77% 3.1 42.5% 18.4%



前期7月 後期12月

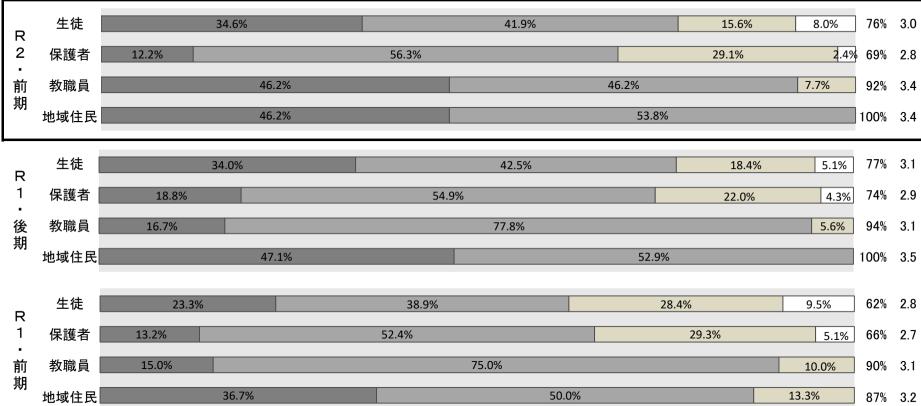
|昨年度の同時期である前期の結果と比較すると、「そう思う」と回答した生徒の割合は大幅に増加している。また、「だいたいそう思う」を含む肯定的回答| 考した生徒の割合についても、増加している。しかしながら、他の項目と比較すると、肯定的回答率が76%と低くとどまっている。加えて、教職員や保護 ||者など、生徒を見守る立場の大人より、生徒自身の肯定的回答率が低くなっている点が、重要な課題と受け止められる。引き続き、道徳教育の充実や 開発的な生徒指導の推進が必要である。また、8-2との違いは、保護者の質問項目において、いじめゼロに限定している点である。

-2 この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

(生 徒) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。 (保護者) この学校は、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減っていると思う。 (教職員) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。 (地域住民) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

青定的回答 平均



前期7月 後期12月

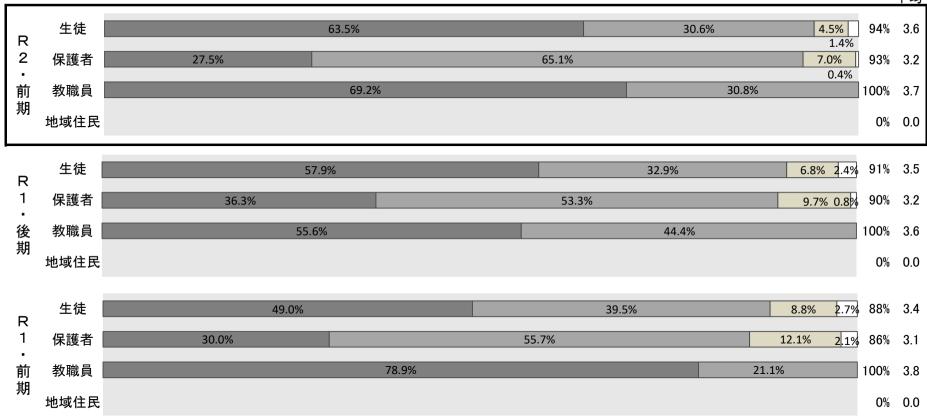
昨年度の同時期である前期の結果と比較すると、「そう思う」と回答した生徒の割合は大幅に増加している。また、「だいたいそう思う」を含む肯定的回答をした生徒の割合についても、増加している。しかしながら、他の項目項目と比較すると、肯定的回答率が76%と低くとどまっている。加えて、教職員や保護者など、生徒を見守る立場の大人より、生徒自身の肯定的回答率が低くなっている点が、重要な課題と受け止められる。引き続き、道徳科の充実や開発的な生徒指導の推進が必要である。また、8-1との違いは、保護者の質問項目において、NGワードに限定している点である。

9 先生たちは、いじめで困っている人がいたら、すぐに対応し解決してくれていると思う。

(生徒) 先生たちは、いじめで困っている人がいたら、すぐに対応し解決してくれていると思う。 (保護者) 教職員は、困っている生徒がいたら、すぐに対応していると思う。 (教職員) 本校の教員は、いじめで困っている生徒がいたら、すぐに対応し解決している。 (地域住民) 0



肯定的回答 平均

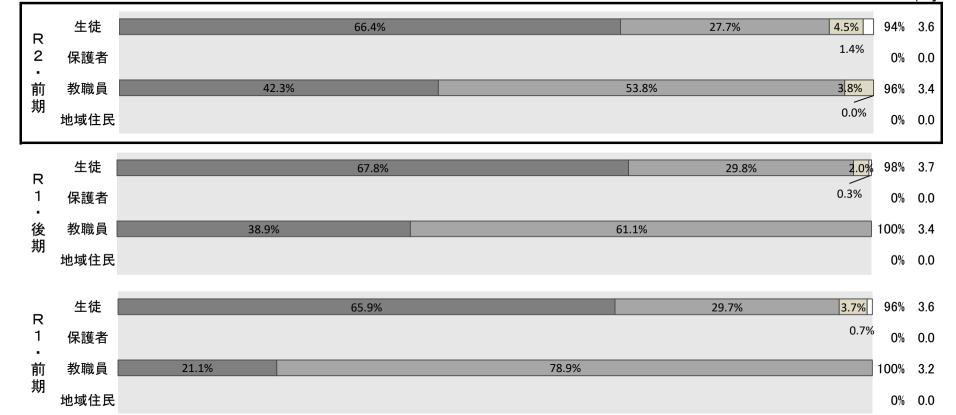


前期7月 後期12月

昨年度前期・後期と比較すると、「そう思う」と回答した生徒・保護者の割合は増加している。また、「だいたいそう思う」を含む肯定的回答をした生徒・保 考 護者の割合も増加している。しかしながら、1.4%ではあるが、「そう思わない」と感じている生徒もいることから、今後、日々の生活ノートのやりとりや毎週 察 の生活アンケート及び教育相談等を実施する中で、生徒の様子をしっかり把握していきたい。 あなたは、道徳の授業の中で、友だちの考えに触れ、自分の心と 向き合うことができていると思う。 (生徒) あなたは、道徳の授業の中で、友だちの考えに触れ、自分の心と向き合うことができていると思う。 (保護者) 0 (教職員) 生徒は、道徳の授業の中で、友だち考えに触れ、自分の心と向き合うことができていると思う。 (地域住民) 0

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

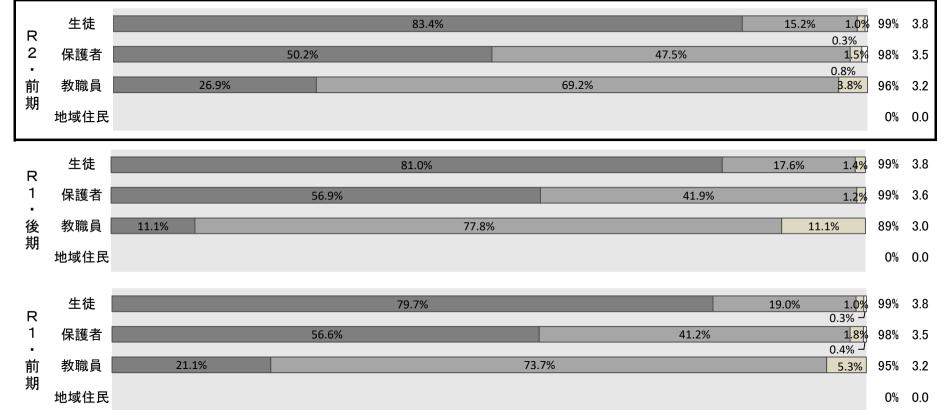
昨年度の同時期である前期の結果と比較すると、「そう思う」と回答した生徒の割合は増加している。一方、「だいたいそう思う」を含む肯定的回答をした 生徒の割合は9割を超えているものの、2ポイント減少している。道徳授業の充実には欠かせない納得解を求めるための議論が、新型コロナウイルス感 染症対策の一環として、制限されてきたことが影響していると考える。 11 あなたは、友だちを大切にして生活をしている。

察

(生徒) あなたは、友だちを大切にして生活をしている。 (保護者) お子様は、友だちを大切にして生活をしていると思う。 (教職員) 生徒は、友だちを大切にして生活をしている。 (地域住民) 0

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

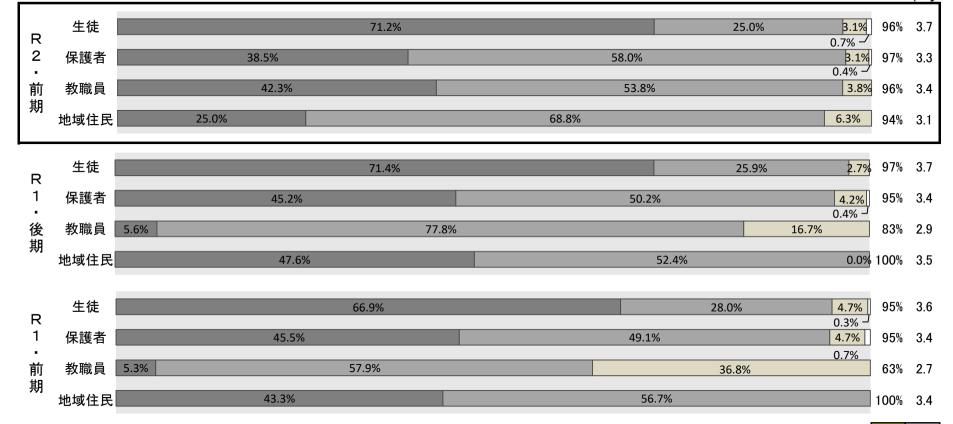
例年と同様に、生徒の肯定的割合は99%という高い割合である。一方、否定的回答をした生徒の割合も、1.3%いる。友達との関係づくりは、大人がとらえる以上に、生徒にとって今をよりよく生きる上でかなりの重要度を占めているといって過言ではないと考える。

12 あなたは、学校や授業の約束やマナーを大切にして生活している。

(生 徒) あなたは、学校や授業の約束やマナーを大切にして生活している。 (保護者) お子様は、学校のきまりや授業の約束、公共のマナーを大切にして生活していると思う。 (教職員)生徒は、学校や授業の約束やマナーを大切にして生活している。 (地域住民) 生徒は、登下校の際に社会のマナーや交通ルールなどを守っていると思う。

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均



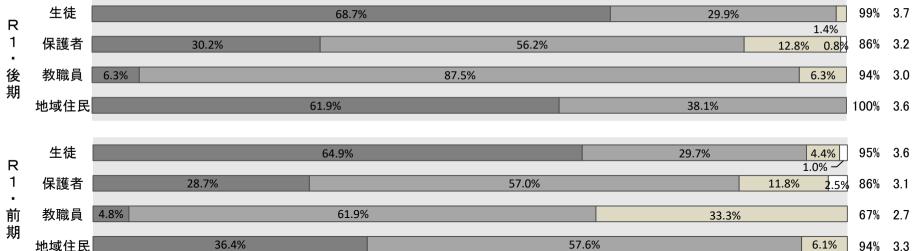
前期7月 後期12月

昨年度の同時期である前期の結果と比較すると、「そう思う」と回答した生徒の割合は増加している。また、「だいたいそう思う」を含む肯定的回答をした 考 生徒の割合についても、増加している。一方、地域住民の肯定的割合が減少している。登下校の交通マナー等で意見をいただくこともあったので、継続 にて指導していきたい。このような意見は、地域住民の子どもを守り育てる当事者意識、または学校に対する期待の現れから、いただけるものでもあるので、感謝したい。 13 あなたは、学校や地域で明るいあいさつをしている。

生 徒) あなたは、学校や地域で明るいあいさつをしている。 (保護者) お子様は、学校の内外で明るいあいさつをしていると思う。 (教職員) 生徒は、学校や地域で明るいあいさつをしている。 (地域住民) 生徒たちは、学校や地域で明るいあいさつをしている。

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均 生徒 93% 3.6 69.0% 24.0% 5.6% R 1.4% 保護者 25.6% 57 3% 14 1% 3.1% 83% 3.1 前 15.4% 教職員 65.4% 19.2% 81% 30 期 地域住民 29.4% 64.7% 5.9% 94% 31



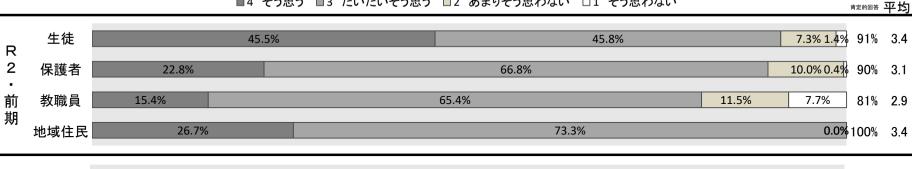
前期7月 後期12月

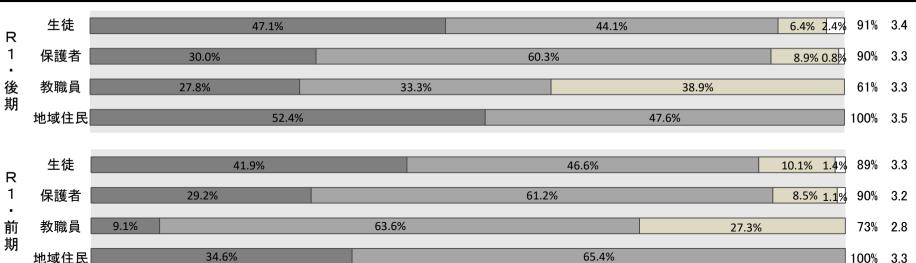
|昨年度の同時期である前期の結果と比較すると、「そう思う」と回答した生徒の割合は増加している。一方、「だいたいそう思う」を含む肯定的回答をした。 ┃生徒の割合は9割を超えているものの、2ポイント減少した。地域住民の肯定的割合に増減はない。保護者、地域住民にとって、最も生徒の様子がわか るものであり、明るい地域づくりに貢献できるものであることから、引き続き、学校全体で力を入れて取り組んでいきたい。

|この学校は、掃除や環境整備が行き届いて、美しい環境がつくられ |(保護者) この学校は、環境整備が行き届いて、美しい環境がつくられていると思う。 14 ていると思う。

・ **牛 徒**)この学校は、掃除や環境整備が行き届いて、美しい環境がつくられていると思う。 (教 職 昌) この学校は、掃除や環境整備が行き届いて、学びの場にふさわしい環境がつくられていると思う。 (地域住民) この学校は、掃除や環境整備が行き届いて、美しい環境がつくられていると思う。

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない





前期7月 後期12月

|昨年度の同時期である前期の結果と比較すると、「そう思う」と回答した生徒の割合は増加している。校舎自体は古いが、掃除や環境整備が行き届いて いる成果であろう。特に、エアコン・電子黒板・掲示板の設置などが増加の要因であると認識している。

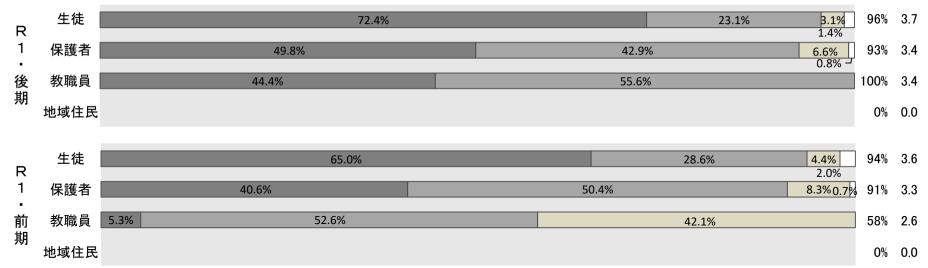
察

あなたは、学級の活動で、仲間と協力して最後までやり遂げてうれ しかったことがある。

<mark>´ 牛 徒)</mark> あなたは、学級の活動で、仲間と協力して最後までやり遂げてうれしかったことがある。 (保護者) お子様は、学級の活動で仲間と協力して物事を成し遂げる達成感を味わったことがあると思う。 (教職員) 生徒は、学級の活動で、仲間と協力して最後までやり遂げてうれしかったことがあると思う。 (地域住民) 0

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均 生徒 6.2% 2.8% 91% 3.5 61.6% 29.4% R 2 保護者 0.8% 86% 3.1 29 7% 56.0% 13.5% 前 26.9% 教職員 57.7% 15.4% 85% 31 期 地域住民 0% 0.0



前期7月 後期12月

|肯定的回答をした生徒の割合は9割を超えているものの、同時期である昨年度の前期の結果と比較すると、2ポイント減少した。新型コロナウイルス感 染症対策の一環として、授業におけるグループ学習(話し合い学習)の制限や行事削減による話し合い活動の減少なども影響していると考える。今後 は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、仲間と協力する活動に取り組んでいきたい。